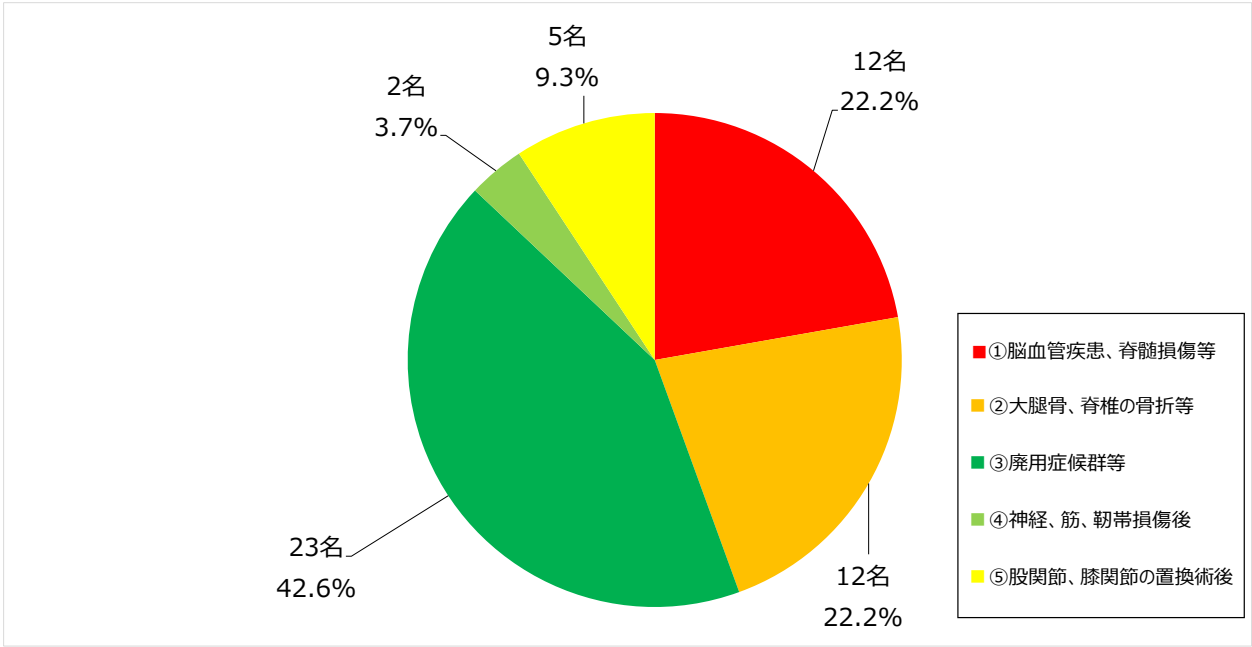
回復期リハビリテーション病棟の実績

■退棟患者の内訳　【集計期間：令和8年7月～令和8年9月】

		総数	54名
疾患別の内訳	①	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後もしくは手術後の状態、又は義肢装着訓練を要する状態	12名
	②	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の骨折、又は2肢以上の多発骨折の発症後、又は手術後の状態	12名
	③	外科手術又は肺炎などの治療時の安静により廃用症候群を有しており手術又は発症後の状態	23名
	④	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	2名
	⑤	股関節又は膝関節の置換術後の状態	5名



■アウトカム評価とは

平成28年4月の診療報酬改定に伴い、リハビリの効果が一定基準に満たない回復期リハビリテーション病棟では、

疾患別リハビリテーション料のうち、1日6単位を超えるものは回復期リハビリテーション病棟入院料に包括されることになりました。

評価方法については、FIM（機能的自立度評価）及び在院日数をもとに、基準値が42以上である場合、質の高い

リハビリテーションを行っている病院として評価されることになります。

※3ヶ月ごと（4月・7月・10月・1月）の基準値が評価されます。

※また回復期ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ入院料1については基準値42以上であることとされていますのでより高い基準が評価とされます。

$$\frac{\text{退棟時のＦＩＭ得点（運動項目）} - \text{入院時ＦＩＭ得点（運動項目）}}{\text{患者の入棟から退棟までの日数} \div \text{当該患者の入棟時の状態に応じた算定上限日数}}$$

⇒実績指数（基準値42以上）

期間	直近の実績指数
令和8年4月～令和8年9月	**52.6**

令和8年10月1日

東京品川病院